



公益財団法人 山階鳥類研究所

第23回山階芳麿賞 内藤靖彦博士への贈呈を決定しました

第23回山階芳麿賞を内藤靖彦（ないとう・やすひこ）博士（国立極地研究所名誉教授）に贈呈することを決定しましたのでお知らせいたします。山階芳麿賞はわが国の鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった方（団体を含む）をたたえる賞で、1992（平成4）年から実施しています。



内藤靖彦博士
（国立極地研究所名誉教授）

内藤靖彦博士は、世界に先駆けてバイオリギング研究を立ち上げ、鳥類その他の動物に関する新しい研究手法の展開に大きな貢献をされるとともに、若い研究者の育成にも尽力されました。山階芳麿賞選考委員会は、これらの功績が山階芳麿賞にふさわしいものと判断し、第23回山階芳麿賞を内藤靖彦氏に贈呈することにいたしました（添付資料(1) 贈呈理由参照）。

贈呈式は、7月22日(月)に山階鳥類研究所の東日本・中部日本地区賛助会員の集いに合わせて開催します。

※この資料に掲載した写真（デジタルデータ）をご希望の方は下記までご連絡ください。

本件についてのお問い合わせ先
（公財）山階鳥類研究所 広報
電話：04-7182-1101 FAX:04-7182-1106

山階芳麿（やましな・よしまろ）賞

日本の鳥学および鳥類保護に顕著な功績のあった者（団体を含む）をたたえ、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的として、1992（平成4）年に、山階鳥類研究所財団設立50周年を記念して設けたものです。賞の名称は、山階鳥類研究所の創設者、山階芳麿博士の功績を記念しています（添付資料(3)をご参照ください）。

記念シンポジウムを開催します 超小型の記録計で動物の生活を探る ～バイオリギングの歩みと動物研究

第23回山階芳麿賞の贈呈を記念したシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

【日時】2024年9月21日（土）13:30～16:00

【場所】東京大学弥生講堂

【講演】

内藤靖彦 「バイオリギングの始まりとゾウアザラシ、
そして鳥類の生態解明へ」

佐藤克文 「ペンギン遊泳のダイナミクス」

高橋晃周 「バイオリギングによる海鳥研究の最前線」

【参加費】無料

【申込み】不要

【主催】（公財）山階鳥類研究所

【共催】朝日新聞社

【後援】我孫子市（予定）

詳細については下記から報道発表資料をご覧ください。
https://www.yamashina.or.jp/hp/p_release/p_release.html

内藤靖彦氏への山階芳麿賞贈呈理由

山階芳麿賞選考委員長 小川博

内藤靖彦氏は世界に先駆けてバイオリギング研究を立ち上げ、この分野をリードし続けてこられました。1980年代はじめに動物装着型の潜水記録計を着想し、ペンレコーダー式装置を開発すると、それを使って国内外との共同研究を行い、アカウミガメ、ゾウアザラシ、ペンギン類などで世界で初めて連続潜水記録を取得し、例えば、アオメウが100mを越す潜水を繰り返して採食することを明らかにしました。これらのうち海鳥類で得られた成果は「Auk」, 「Condor」, 「Journal of Zoology」などに6本の論文として発表されています。その後、1990年代当時、急速に進みつつあったマイクロコンピュータ技術にいち早く着目し、小型～中型の海鳥にも装着可能な電子式の潜水記録データロガーを開発しました。この技術はその後のバイオリギングサイエンスが展開する基盤となるものであり、それまで取得困難だった海鳥類の潜水行動、飛行行動、採食行動、心拍や体温などの生理情報に加え、装置を着けた個体の側から見た画像を得ることを初めて可能にしました。これらに関する内藤氏の学術成果は海鳥類をはじめウミガメ類、海産哺乳類、魚類などを材料とした130編以上もの原著論文として国内外の学術雑誌に公表されています。

さらに、この技術の特徴、利用そして将来について3編の総説を山階鳥類学雑誌などに発表し、2003年には著名な国外の研究者を数名招聘して国立極地研究所で国際会議を主宰されました。この会議で“バイオリギング”という用語が初めて提唱され、その後この会議はバイオリギング国際シンポジウムとして定期的に行われるようになり、今年21年ぶりに東京で開催された第8回大会でも大きな役割を果たされました。この技術により、鳥類の基礎的な生物学的研究が飛躍的に進んだだけでなく、応用分野として移動性の高い鳥類の保全に必須の、しかし野生下では収集が困難な渡りやハビタット利用についての情報が幅広く得られるようになりました。バイオリギング研究で常に世界の最先端をいくばかりでなく、若い研究者の教育、育成に尽力され、鳥類学において全く新しい研究手法を展開し、その発展に大きな貢献をされました。

山階芳麿賞選考委員会は、これらの功績が山階芳麿賞にふさわしいものと判断し、第23回山階芳麿賞を内藤靖彦氏に贈呈することにいたしました。

第23回山階芳麿賞受賞者

内藤靖彦博士 ないとう・やすひこ

1941年2月5日 東京生まれ

専門：海洋動物生態学

1965年 東京水産大学水産学部卒業

1967年 東京水産大学大学院水産学研究科修士課程修了

1971年 東京大学大学院農学研究科博士課程修了

1971年 農学博士

1973年 東京水産大学助手

1978年 国立極地研究所助教授

1985年 国立極地研究所教授

2004年 総合研究大学院大学名誉教授

2004年 国立極地研究所名誉教授

2005年から2008年 早稲田大学理工学部非常勤教授

【主な著書】

- ◆ 『海のなか、動物は何してる?』 (内藤靖彦 文、佐藤直行 絵・1997・岩波書店)
- ◆ 『ニッポン南極観測隊：人間ドラマ50年』 (小野延雄、柴田鉄治 編・2006・丸善出版)
(分担執筆、「ここまでわかったペンギンの生態」)
- ◆ 『バイオロギング-「ペンギン目線」の動物行動学- 極地研ライブラリー』 (内藤靖彦、佐藤克文、高橋晃周、渡辺佑基 共著・2012・成山堂書店)

【受賞】

- ・ 2012年 科学技術分野の文部科学大臣表彰、科学技術賞(研究部門) (佐藤克文、高橋晃周共同受賞)
- ・ 2021年 Outstanding Achievement Award 2021, International Bio-Logging Society

【その他】

1979年 第21次南極地域観測隊員(越冬隊)

1983年 第25次南極地域観測隊副隊長(夏隊)

1986年 第27次南極地域観測隊副隊長(越冬隊)

1989年 第31次南極地域観測隊隊長(越冬隊)

1992年 4月1日から1994年3月31日 東京大学海洋研究所客員教授

2004年10月1日から2013年9月30日 南極地域観測統合推進本部委員

山階芳麿 (やましな・よしまろ) 賞について

山階鳥類研究所は、1992(平成4)年7月に行われた財団創立50周年記念行事の一環としてこの賞を設けました。日本の鳥学及および鳥類保護に寄与された、山階鳥類研究所の創設者・故山階芳麿博士の功績を記念して、この賞を「山階芳麿賞」と名付けました。

山階芳麿賞は、日本の鳥類の研究および鳥類保護に顕著な功績のあった者をたたえ、わが国の鳥学の発展並びに鳥類保護の振興に寄与することを目的としています。

受賞者は「山階芳麿賞」選考委員会で選考されます。受賞者は、隔年度、原則として1名とし、選考の結果該当者がいない場合には、その年度の表彰は行いません。選考委員会は学識経験者その他、理事長が必要かつ適格と判断する者(5~12名)で構成されます。

表彰は山階鳥類研究所総裁・秋篠宮文仁皇嗣殿下が行い、受賞者には表彰状と山階芳麿賞記念メダルが贈呈されます。記念メダルのデザインは、表・山階芳麿博士肖像、裏・ヤンバルクイナのレリーフとなっており、受賞年と受賞者氏名が刻印されます。ヤンバルクイナは沖縄県で発見され、1981(昭和56)年に山階芳麿博士らが新種として発表した山階鳥類研究所のシンボルの一つです。なお、2003(平成15)年度からはさらに副賞として「朝日新聞社賞」(賞金50万円と盾)が贈られています。

歴代の受賞者は下記のとおりです。

回数	受賞年	氏名・団体名	所属・職名	備考
第1回	1992	羽田健三	信州大学名誉教授	1994年11月逝去
第2回	1993	松山資郎	山階鳥類研究所顧問	2000年8月逝去
第3回	1994	中村司	山梨大学名誉教授	2018年11月逝去
第4回	1995	黒田長久	山階鳥類研究所所長	2009年3月逝去
第5回	1996	中村登流	上越教育大学名誉教授	2007年11月逝去
第6回	1997	正富宏之	専修大学北海道短期大学教授	
第7回	1998	樋口広芳	東京大学大学院教授	
第8回	1999	山岸哲	京都大学大学院教授	
第9回	2000	藤巻裕蔵	帯広畜産大学教授	
第10回	2001	小城春雄	北海道大学大学院教授	

第11回	2002	中村浩志	信州大学教授	
第12回	2003	石居進	早稲田大学名誉教授	
第13回	2004	由井正敏	岩手県立大学教授	
第14回	2006	長谷川博	東邦大学教授	
第15回	2008	立川涼	愛媛大学名誉教授	2017年5月逝去
第16回	2010	森岡弘之	国立科学博物館名誉研究員	2014年12月逝去
第17回	2012	日本イヌワシ研究会		
第18回	2014	(特別賞) 橘川次郎	クイーンズランド大学名誉教授	2016年5月逝去
		(特別賞) 小西正一	カリフォルニア工科大学名誉教授	2020年7月逝去
第19回	2016	上田恵介	立教大学名誉教授	
第20回	2018	江崎保男	兵庫県立大学教授 兵庫県立コウノトリの郷公園 統括研究部長	
第21回	2020	渡辺茂	慶応義塾大学名誉教授	
第22回	2022	日本雁を保護する会		

※受賞者の所属・職名は受賞当時のものです。